

第30回

死因究明教育研究センターセミナー



演題：「安全なお産のために

解剖検査の役割について」

演者： 若狭 朋子 先生

御所属・職： 近畿大学奈良病院 病理診断科 臨床教授、診療部長

座長： 田中 敏 先生

(北海道大学大学院医学研究院死因究明教育研究センター)

とき：2024年10月30日(水曜日)18:00-19:00

会場：WEB(Zoom)による開催 (ご視聴の際は、カメラオフ、ミュートをお願いします。)

対象者：医師、学生、医療関係者、他

講演内容：日本産婦人科医会では2010年より妊産婦死亡症例登録事業として、死亡症例の全数登録事業を開始した。現時点での症例数は500を越えた。この内容は日本産婦人科医会から「母体安全の提言」として毎年発刊されている。死亡原因をみると、羊水塞栓症、妊娠高血圧症候群、劇症型A群溶連菌感染症、妊娠オウム病、と産科特有の病態が多いが、劇症型I型糖尿病、褐色細胞腫、アミノ酸代謝異常など、同世代の男性であっても発症しうる疾患も少なくない。

解剖を実施するに当たっての注意点と、この10年の活動の成果についてご報告したい。

お申込みは下記URLのGoogle Formへのご登録をお願い致します。メール自動返信により、Zoom招待状が配信されます。

(1日経ってもメールが返信されない場合、再度のご登録をお願いいたします。)

<https://forms.gle/vQytGFyuxjn7KWt8>



皆様のご参加を  
お待ちしております。

お問い合わせ先：

北海道大学大学院医学研究院

死因究明教育研究センター

担当：田中 敏

TEL:011-706-5050

(統合病理につながります)

Mail address: [cdicenter.28@med.hokudai.ac.jp](mailto:cdicenter.28@med.hokudai.ac.jp)